団体インタビュー（幕張ベイタウン地域運営委員会）

１　日　時　平成２８年1月１１日（月）１６：５０～１８：００
２　場　所　地域連携センター
３　対象団体
　幕張ベイタウン地域運営委員会
４　インタビューの結果
（１）地域活動を始めようと思った理由・きっかけは？
- ベイタウンの優れた景観を維持管理していくことを考えたときに、今は住民が支払う地代で企業庁が維持管理しているが、将来千葉市に移管されたときに、千葉市では同じ水準を維持することができない。市に要求するだけでなく、自分たちでどうしていくかを考える必要があると思った。
- 知人に誘われたのがきっかけ。
- 地域活動への想いがあり、誘われたら参加してもいいという人は結構いると思う。
- 子どもが育っていくことを考えたときに、地域と深く関わっていきたいと思った。
- ベイタウンが地域参加しやすい要因は以下のとおり。
  - 新しくできたまちで、みな新住民で均質であり、問題意識が共通であったこと。
  - 区域がはっきりしていること。
  - 長老的存在がいなかったこと。
  - 公平で聞き上手なリーダーがいること。
  - 論理的に話す住民が多いこと。

（２）地域活動を継続するための秘訣は？
- 楽しいから。
- 地域活動をしていることで評価される機会は多くはないが、「ご苦労さま。」「ありがとう。」と言われることがあり、やっていてよかったと思う。
- 現役の時は仕事で忙しくて地域に目を向ける余裕がなかったが、退職してからどうしようという不安が漠然とあった。やっぱり地域って大事だなと思うようになった。
- 一住民として地域を良くしていきたいという思いがある。
- 事務局（作業できる人）が大事。地域活動を回していくには、やりたいことをどんどん出していく人と、事務的なことを整理していく人の両方必要。

（３）地域活動を進める上で、市にサポートしてほしいことは。
- 事務局に対して市が応援できることがあると思う。それはお金だけではないと思う。市の持っている情報を提供することだと思う。こんな情報まで出してくれるん

だと住民が感じれば信頼関係が生まれてくる。

・　職員にも、住民として地域参加してほしい。

・　事務局への人件費の補助、あるいは職員にも事務局を担ってほしい。

・　ひたすら住民側の視点に立って考え、市役所の各部署と戦うポストを作れないか。そのとおり実現できなくてもいい、そのくらい割り切りのポスト。